



市道十二坊線・地域医療・ 入札制度について



こなんの未来 ● 堀田 繁樹 議員

- 問** 市道十二坊線積雪時の通行止めに伴う影響と対策について
- 答** 道路幅が狭小の岩根地先へ大型車両が進入し、立ち往生した事案は把握しています。市道大谷線の起点から終点において、啓発看板や大型車両通行制限など公安委員会や地域関係者と協議して進めます。また、市内企業に対して、通行止め時の迂回ルートの案内を徹底します。
- 問** 地域医療について
- 答** 市立診療所の現状は、現在、3診療所で業務を実施中です。水戸診療所では小児科を、石部診療所では訪問看護ステーションを併設し、在宅医療支援体制を構築しています。夏見診療所は老朽化が課題。いずれも患者数は減少傾向で、収入減のため、一般会計からの繰入金が増加しています。
- 問** 休診中の岩根診療所についての対応は。
- 答** 昨年7月に岩根学区区長の皆様に状況報告。同年8月、県に再度医師派遣依頼をした結果、県内の医師数も余裕がなく、へき地以外への派遣は不可との回答でした。このため、再開は困難と判断し、閉院に向けて手続きを進める予定です。
- 問** 入札制度について
- 答** 原則、制限付き一般競争入札で実施しています。
- 問** 市内企業優遇について他市町の先進事例を見習うべきでは。
- 答** 市内企業への配慮について、業者育成や地域経済の活性化の観点から、市内優先発注実施方針制定を含めて検討していきます。



労働者問題と公共交通について



無会派 ● 東森 徹平 議員

- 労働者問題について**
- 問** 外国人労働者の保険加入、納税状態は。
- 答** 現在の外国人比率は8.07%。生活保護受給世帯数は267世帯うち外国籍は30世帯。市営住宅の入居状況は145世帯、256名うち外国人世帯は19世帯、41名。市営住宅使用料の滞納・未納は21件、うち外国人世帯は6件です。
- 問** 外国人支援政策と、既存企業や労働者との差について
- 答** 国や県の補助金、職業訓練や委託訓練など、本市の就労支援策は国籍によって違いはありません。
- 問** 親が子供の心配をせずにすむ秩序ある共生を目指すか。
- 答** 親が子を思う気持ちには国籍で変わるものではないと思います。互いの人権を認め合うまちづくりに取り組んでいきます。
- 公共交通について**
- 問** 公共交通問題解決のための乗務員確保について
- 答** 多角的な視点から検討中です。地域住民との連携による新たな移動支援の可能性も重要な選択肢です。制度設計や関係機関との協議、研究を進めます。
- 問** 地域型交通の取り組みについて
- 答** 幹線路線はバス運行を基本とし、利用者の少ない地域に小型車両を活用した交通体系が可能かどうか、調査・検討を進めます。
- 問** 地域住民との意見交換の場は。
- 答** 地域移動支援については新設する「地域移動支援統括室」を中心に取り組んでいきます。